

札幌市農業体験交流施設（さとらんど）令和6年度市民農業講座「さっぽろ農学校入門コース」に係る業務計画書

1. 令和6年度さっぽろ農学校入門コース事業概要

(1) 実施目的

幅広く市民を対象に、家庭菜園や市民農園で野菜作りを楽しむための知識を伝え、市民の農的活動を促すことを目的とした、市民農業講座「さっぽろ農学校入門コース」事業を実施する。

(2) 実施方法

野菜栽培の基礎知識を中心に講義形式で進める。

(3) 募集対象

野菜栽培に関心や興味のある15歳以上の方。

(4) 開催期間・回数・時間

○開催期間 令和6年4月7日（日）～令和6年9月1日（日）

※日曜日のみ開催

○開催回数 18回（1回2講義、計36講義）

○開催時間 第1講 9:30～10:30まで

第2講 10:45～11:45まで

（※なお、4月21日および5月12日は、午前、午後で2回分の講義を行う。
第3講 13:00～14:00まで
第4講 14:15～15:15まで

(5) 講義内容とスケジュール 別紙募集要項参照

(6) 募集人数

○受講申込者 70名程度

※ 応募者多数の場合は抽選で受講者を決定する。

(7) 会場

さとらんどセンター 視聴覚室

(8) 受講料

受講申込者（36講義、資料代含む） 8,000円

(9) 募集方法

さとらんどホームページの専用フォームからメールでお申込みいただくか、又は往復ハガキに氏名(フリガナ)、年齢、住所、電話番号、返信先を記入のうえ、さとらんどへ郵送。

(10) 募集期間

令和6年2月9日(金)～令和6年3月1日(金)必着

(11) 受講者の決定

応募者多数の場合には、抽選により受講者を決定する。

受講者が決定次第、速やかにメール又は返信ハガキで通知する。

(12) 修了認定

受講者の学習意欲や出席率向上を図ることを目的に、全講座の7割以上出席した受講者に受講修了証を授与する。

(13) 広報

さっぽろ農学校入門コースの受講者募集にあたり、以下の広報活動を行なう。

- ① 札幌市のお知らせ2月号掲載
- ② さとらんどホームページ
- ③ さとらんど通信
- ④ 募集要項およびポスターの作成（配付先内訳は別添のとおり）

(14) 録画済講座内容の一般公開

「さっぽろ農学校入門コース」の講義内容をVTR収録したものを、引き続き、ホームページで閲覧できるようにする。

(15) 災害等により休講した場合の対応について

- 講義スケジュールに従って実施し、休講分の補講は行わない。
- 受講者には、1日当たり500円の受講料を休講した日数分返金する。
ただし、返金の上限は8,000円とする。
また、返金は、原則として、講義最終日（9月1日）以降に一括で返金する。
- 受講者の都合により欠席の場合は返金しない。※テキストを渡す。

2. 令和5年度事業との相違点

講師2名（中野雅章氏、堅木和枝氏）が退任し、新たに長尾明宣氏（元道総研農業研究本部中央農試部長）、藤井純子氏（ピュア・ポタジェ代表）の2名を任用する。

3. 添付資料

- (1) 令和6年度さっぽろ農学校・入門コース 募集要項（※講師一覧を含む）
- (2) 募集要項配付先一覧

市民農業講座

さっぽろ農学校



令和6年度受講生募集



市民農業講座

— 新しい都市農業のかたちを共に考え、学び実践する場 —

さっぽろ農学校

とは……

市民農業講座「さっぽろ農学校」は、札幌市民を対象に、農業と市民をつなぐ役割を担い、地元の農業を支え、食と農の大切さを発信できる人材の育成を目的として、平成13年にスタートしました。

家庭菜園や市民農園を楽しんでいる方や、これから野菜づくりを楽しみたい方を応援するための「入門コース」と、農業に関する知識や栽培技術の習得を目指し、圃場での演習と講義を行う「専修コース」があります。

▲入門コースの修了生は講義で得た知識をもとに家庭菜園や市民農園をより充実したものになっているほか、農業に興味や参入意欲のある方の中には、さらなるステップアップとして、翌年に専修コースに進む方もいます。

▲専修コースの修了生は、様々な場面で活躍しており、農業者として就農した方、就農研修に取り組む方、NPO法人を立ち上げ様々な方面から農業に取り組む方、農業ボランティアや農体験リーダー(※)として、子どもたちの農業体験の講師として活躍する方など、多くの修了生が農業と関わりのある活動を行っています。

※ 農体験リーダーとは

市民農業講座「さっぽろ農学校」専修コースの修了生など、一定の農業技術や知識を習得した市民の方を「農体験リーダー」として認定し、小中学校の「総合的な学習の時間」やクラブ活動等の課外活動等に派遣する制度です。



指定管理者

さとらんどfanコンソーシアム

代表企業 横浜植木株式会社 北海道支店

令和6年度さっぽろ農学校・入門コース 募集要項

- ◆募集対象 野菜栽培に関心や興味を持つ15歳以上の方。
- ◆開催期間 令和6年4月7日(日)～令和6年9月1日(日)(毎回 日曜日開催)
- ◆開催回数 18回(1回2講義。計36講義)※具体的なスケジュールは別項に記載。
- ◆開催時間 第1講 9:30～10:30 第2講 10:45～11:45
〔※なお、4月21日および5月12日は、午前、午後で2回分の講義を行います。〕
第3講 13:00～14:00 第4講 14:15～15:15
- ◆募集人数 受講者 70名程度
- ◆会場 サッポロさとらんど(札幌市東区丘珠町584番地2)さとらんどセンター視聴覚室
- ◆受講料 受講者(36講義の資料代も含む)8,000円
- ◆受講料の納入方法 受講者は、さとらんどセンターの受付(窓口)に直接お支払い下さい。
詳細はメール又は返信ハガキでお知らせします。
※一旦納められた受講料につきましては、お返しできませんのでご了承下さい。
- ◆応募方法 さとらんどホームページの専用フォームから、メールにてお申し込み下さい。
又は、往復ハガキに氏名(フリガナ)、年齢、住所、電話番号、返信先を必ず記入の上(往復ハガキ記入例参照)、お申し込み下さい。
- (メールでの場合) ホームページ <http://www.satoland.com/>
『最新情報・お知らせ』の令和6年度「さっぽろ農学校入門コース、専修コース、特別専修コース」募集開始のご案内を確認してください。
- (往復はがきの場合) 〒007-0880 札幌市東区丘珠町584番地2
サッポロさとらんど「さっぽろ農学校入門コース」係
募集要項裏面に記入内容を記載しておりますので、ご確認ください。
- ◆申込期間 令和6年2月9日(金)～令和6年3月1日(金)(必着)
- ◆受講者の決定 応募者多数の場合は、抽選により受講者を決定します。
受講者が決定次第、メール又は返信ハガキにて通知します。
- ◆講座の修了 講座の7割以上を出席された方に「受講修了証」を授与します。
- ◆個人情報の保護 応募に伴いご提供頂く個人情報は、農学校入門コースの募集に限定して使用致します。
- ◆その他 ○応募者数多数の場合は抽選で受講者を決定します。
○講義スケジュールに従って実施し、休講した場合は休講分の補講は行いません。
○休講した場合は、受講者には、1日当たり500円の受講料を
休講した日数分返金致します。ただし、返金額の上限は8,000円とします。
また、返金は、原則として講義最終日(9月1日)以降に一括で行います。
○受講者の都合により欠席された場合は、返金致しませんのでご了承ください。
※欠席された場合のテキストは、希望者にお渡しいたします。

令和6年度 さっぽろ農学校入門コース講義内容とスケジュール

回	月,日	課 題 名	内 容	講 師
1	4月7日	〈開講式〉		
		「野菜作りの基礎」その1 「野菜作りの基礎」その2	植え付け時期、苗の選び方、保温・低温対策 土づくりと肥料のやり方	大居正一 高橋恒久
2	4月14日	「たまねぎ・ながねぎの栽培」 「ウリ科野菜の栽培」その1	たまねぎ、ながねぎ、こねぎの栽培方法 すいか、メロン、きゅうり等の定植、着果管理方法	柳山浩之 柳山浩之
		4月21日 AM	馬鈴しょ、スイートコーンの栽培 「豆類の栽培」	馬鈴しょ、スイートコーンの栽培方法 枝豆、さやいんげん、さやえんどうの栽培方法
4	4月21日 PM	「ナス科野菜の栽培」その1 「ナス科野菜の栽培」その2	トマト、ミニトマトの栽培方法 ピーマン、なす等の栽培方法	長尾明宣 高橋恒久
		5月12日 AM	「根菜類の栽培」その1 「根菜類の栽培」その2	にんじん、ごぼう、落花生の栽培方法 だいこん、カブ、ラディッシュの栽培方法
6	5月12日 PM	「サツマイモ、かぼちの栽培」 「アスパラガス、ながいもの栽培」	サツマイモ、かぼちの栽培方法 アスパラガス、ながいもの栽培方法	長尾明宣 高橋恒久
		7月26日	「葉茎菜類の栽培」その1 「葉茎菜類の栽培」その2	レタス類、ほうれんそう等、葉物野菜の栽培方法 キャベツ、白菜、ブロッコリー、カリフラワー等の栽培方法
8	6月2日	「プランター栽培」 「人にやさしい病害虫防除方法」	ベランダや狭い空き地での栽培方法 耕種的、物理的、生物的、自然派農薬,その他による防除方法	奥山 誠 奥山 誠
		6月9日	「珍しい根菜類の栽培」 「温暖化に対応した野菜の栽培」	ショウガ、キクイモ、アピオス、サトイモ等の栽培方法 ゴーヤ、オクラ、ゴマ等の栽培方法
10	6月16日	「花栽培で生活に潤い」 「小果樹類の栽培」	庭やプランターで楽しむ易しい花の栽培方法 ブルーベリー、ハスカップ等の栽培方法	吉岡宏直 杉浦輝陽
		6月23日	「ウリ科野菜の栽培」その2 「ナス科野菜の栽培」その3	すいか、メロン、きゅうり等の誘引、収穫方法 トマト、なす、ピーマン等の整枝、摘葉等これからの管理
12	7月7日	「病害虫防除」その1 「病害虫防除」その2	これからの留意すべき病害対策(主な病気の種類とその防除方法) これからの留意すべき害虫対策(主な害虫の種類とその防除方法)	池田 信 池田 信
		7月21日	「生育不良の原因とその対応策」 「ハーブを取り入れた家庭菜園」	生育不良、失敗事例の原因とその対応策 菜園(ポタジェ)でのハーブ類の栽培と活用方法
14	7月28日	「健康野菜の栽培」 「秋野菜の収穫、貯蔵方法」	ヤーコン、ビーツ、ツルムラサキ、ロマネスコ等の栽培方法 野菜の生理生態からみた適期収穫、貯蔵方法	安達英人 安達英人
		8月4日	「夏秋に定植する野菜類の栽培」 「多年生野菜の栽培」	いちご、にんにくの栽培方法 にら、みつば、みょうが、西洋わさびの栽培方法
16	8月18日	「有機農業の実際」その1 「有機農業の実際」その2	有機農業実践農家の体験に基づいた栽培ノウハウ 有機農業実践農家の体験に基づいた栽培ノウハウ	大塚裕樹 大塚裕樹
		8月25日	「農産加工事例」その1 「農産加工事例」その2	家庭で出来るトマトソース、野菜ジャムの作り方 家庭で出来る漬け物の作り方
18	9月1日	「北海道の山菜」 「質問に答えて、総復習」 〈閉講式〉	タラノ芽、行者ニンニク、うど等の栽培方法 これまでに出示された質問に答えて、総復習	奥山 誠 高橋恒久

講師名	経 歴 等		専門分野
	元 職	現 職	
安 達 英 人	雪印種苗(株)北海道研究農場研究員	渡辺農事(株) 北海道営業所所長	野菜
池 田 信	北海道 上席普及指導員	住友化学株式会社 アグロ事業部技術顧問	病虫害防除
江 田 美智江	北海道 普及指導員	—	農産加工
大 居 正 一	北海道 普及指導員	サッポロさとらんど 市民農園栽培相談員	野菜
大 塚 裕 樹	—	大塚ファーム社長(農業経営者)	野菜
奥 山 誠	北海道 普及指導員	サッポロさとらんど 市民農園栽培相談員	野菜
杉 浦 輝 陽	北海道 普及指導員	岩見沢市農業技術専門員	果樹
高 橋 恒 久	北海道 上席普及指導員	サッポロさとらんど 職員	野菜
長 尾 明 宣	道総研農業研究本部 中央農試部長	グリーンテクノバンク コーディネーター	野菜
藤 井 純 子	—	ピュア・ポタジェ代表	ハーブ
柳 山 浩 之	北海道 首席普及指導員	ホクレン野菜果実花き課 特任技師	野菜
吉 岡 宏 直	北海道 普及指導員	農業経営者	花き

往復ハガキ記入例



〈返信はがきの裏面〉



〈往信はがきの裏面〉

会場への交通



■地下鉄とバスで

- ①地下鉄東豊線「環状通東」駅より
中央バス東 61 番「中沼小学校通」行きに乗車(約 20 分)
- ②地下鉄南北線「北 34 条」駅より
中央バス東 76 番「中沼小学校通」行きに乗車(約 20 分)
- ③地下鉄東豊線「新道東」駅より
中央バス東 76 番「中沼小学校通」行きに乗車(約 15 分)
- ①②③とも「丘珠高校前」バス停で下車、徒歩 10 分
- ※東 76 には夏期のみ一部の時間帯にさとらんど経由便があります。

■乗用車で

- ①創成川通⇒環状通⇒札幌当別線
- ②北 1 条通⇒国道 275 号⇒雁来碓路連絡線

お問い合わせ先



〒007-0880 札幌市東区丘珠町 584 番地 2
TEL 787-0223 FAX 787-0947